

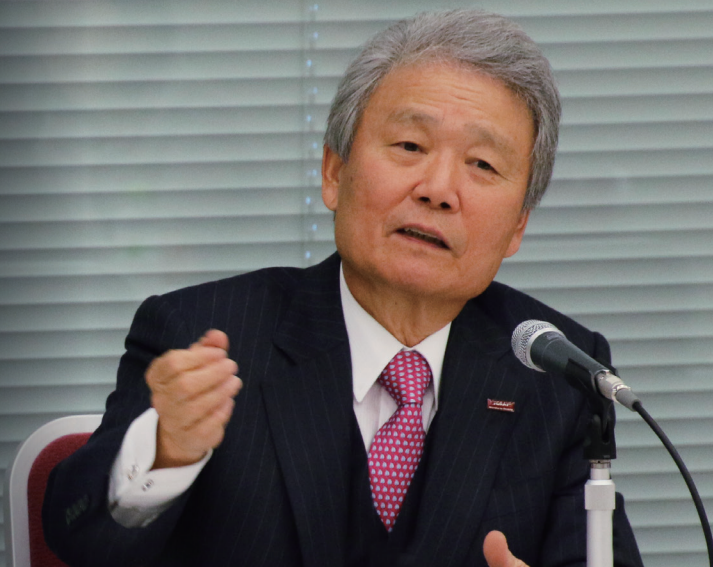


## 榎原 定征氏 Sadayuki Sakakibara

Keidanren Women's Executive Network

# Leadership Mentor Program

企業が変わるためには、  
トップの意識改革および  
コミットメントが必須



経団連女性エグゼクティブ・ネットワーク

## 第1回リーダーシップ・メンター・プログラム

2015年11月30日 東京・大手町 経団連会館

### 女性の活躍推進は 企業にとっての経営戦略

経団連は、女性の活躍推進を、激しいグローバル競争の中で企業の存続を左右する重要な経営戦略であると同時に、少子高齢化の下でわが国の経済社会の持続的な成長を可能にする重要な成長戦略と考えている。企業が変わるためには、トップの意識改革およびコミットメントが必須である。その一例として、経団連会員企業が「女性の役員・管理職登用に関する自主行動計画」を策定し、非常に野心的な目標を開示している。また、建設業のような男性中心の企業においても積極的に女性の活躍を推進していることを聞いている。このような非常に前向きな動きがある反面、最新の「ジェンダー・ギャップ指数」では、日本は調査対象145カ国のうち101位という結果も出ている。現状に満足せず、引き続き活動を推し進めていく余地があると考えている。また、今後は、男女問わず、自己実現したいと思う人が、制約を受けずに活躍できる社会を目指していくべきである。

### 女性役員が活躍できる 環境を整備

ここに集まっている皆さんは、まさにトッププランナーであり、ロールモデルとなる人たちである。様々なプレッシャーも感じるかもしれないが、これまでの人生に自信を持って、ぜひ引き続き活躍していただくことを願うとともに、経営者としては、皆さんが活躍できる環境の整備に努めたい。理想の将来像としては、「かつて女性の活躍推進という取り組みがあった」と言われるような、女性の活躍が当たり前になる社会を実現させたい。

講話後の意見交換では、参加者から経営者としての資質や部下の育成などについて質問があり、榎原会長からは、これまでの経験に基づく力強い助言があった。



### Mentor Profile

## 榎原 定征氏

(一社)日本経済団体連合会 会長  
東レ(株) 相談役最高顧問

名古屋大学大学院工学研究科応用化学専攻修士課程修了。米国ロードアイランド大学博士、イタリア共和国ヘルージャ大学名誉学位取得。

1967年に東レ入社。2002年より社長、2010年会長。2015年6月より相談役最高顧問に就任。経団連では、2014年6月に会長に就任。

その他、経済財政諮問会議議員を務めるなど、日本経済界の代表として幅広く活躍。